



# 2024年度

# Peach Women's Business School

## 第10回

登壇者：帝塚山学院大学 リベラルアーツ学部 教授  
Link Next 社会研究所 所長  
飛河 智生氏

講演テーマ：「世界の動向とグローバル思考」



※ アンケートは受講者の回答をそのまま転記しております

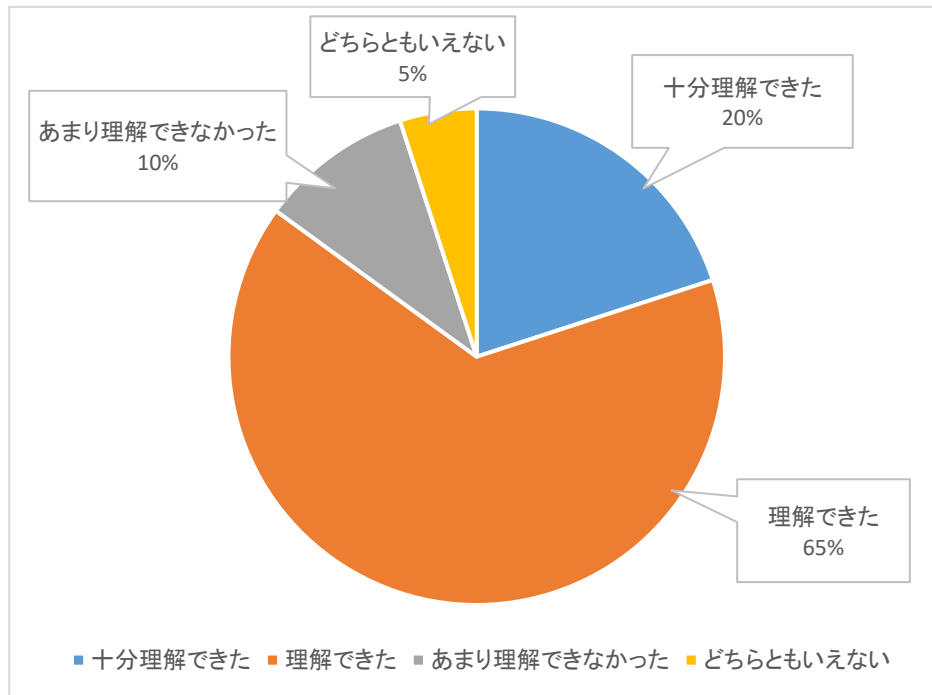
# 2024年度PWBS 第10回アンケート集計結果

研修日：2024年12月5日(木)

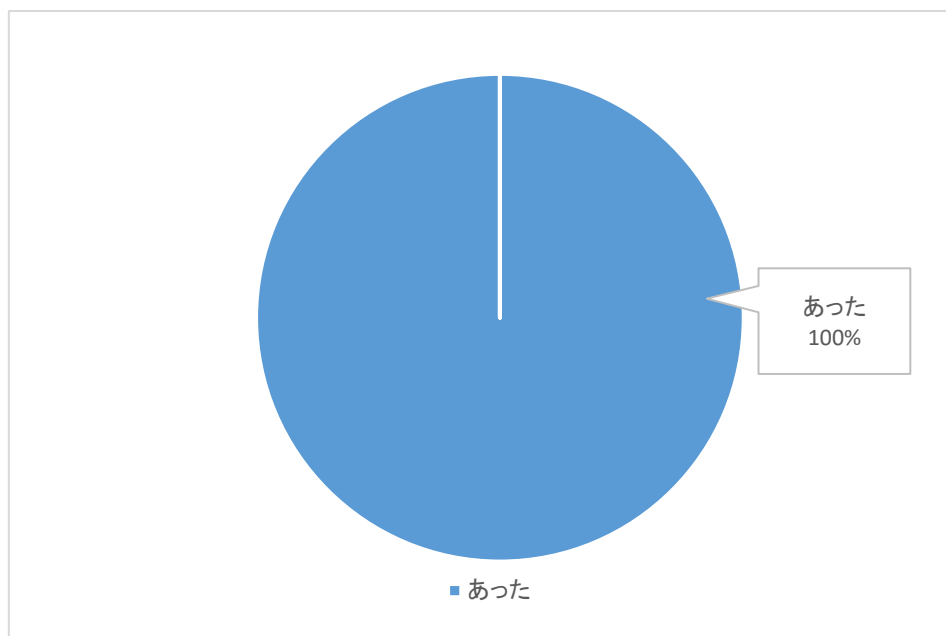
登壇者：帝塚山学院大学 リベラルアーツ学部 教授、Link Next 社会研究所 所長 飛河 智生氏

講演テーマ：「世界の動向とグローバル思考」

## (1) 本日の講義の理解度はいかがでしたか。【十分理解できた、理解できた、あまり理解できなかった、どちらともいえない】



## (2) 本日の講義から学んだ点、気づいた点はありましたか。【あった、なかった】



あった方はどのような点かご記入ください。なかった方はその理由をご記入ください。

学生の頃から歴史や公民の分野にかなり弱かったため今回の講義のみで追いつくというわけにはいきませんでした。足りない知識が多くあることに気付かされ、とても刺激を受けました。冒頭には『盲目 象を語る』で「それぞれが自分の意見を譲らず言い張るだけ」「それぞれが正しいところもあるが、またどれも間違えている」とありましたが、とても納得し、さまざまな物事を見る上で大切な感覚だと思いました。

ただ一方で、私自身に関して言えば、世界の情勢に目を向けることに迷いがあり、そもそも自身の意見を持つことができていない点も課題だと感じています。あらゆる国で起こっていることに対して他人事だと思っている、というつもりではないのですが、間違った情報や偏った言論に惑わされることを恐れて極端に情報の入口を狭め、結果的に他人事と捉えていることと変わらない関わり方しかしていないのではないかと思ったためです。

講義の中で、アメリカの共和党と民主党、いずれの政党にも支持できる点とできない点があると感じました。世の中にあるもののほとんどはそういった両面を持っているものだと思うので、今回示していただいたように冷静な視点で特徴を捉え、自分なりに関わっていきたいと思います。

世界情勢についてはニュースでなんとなく把握している程度であったので、各国の政治や歴史的背景、地政学的な視点を含めて一通りのおさらいができたのが良かった。また自社のビジネスへの影響等を想定しながらそれぞれを見ていくとまた様々な気づきがあった。

世界を時間、空間、分野に分けて俯瞰するという考え方が非常に腑に落ちました。一方でそのためには日々、点で情報をインプットしていくことが必要不可欠なので、そういった視点で日ごろから新聞などを読もうと思います。

VUCAの時代に変化に対応し柔軟に働くためには、グローバルな視点、多角的な視点をもつことが必要だということ学んだ。自分の考えに固執せず、世界の動きや過去の歴史から広く学んだうえで、自分はどう行動するのか考えることが大切だと感じた。

人類が世界に拡散し、農耕を始めるまで9万年かかっていることが印象に残った。現代だったら1日で終わってしまうことだと思う。極端な例かもしれないが、それだけ変化のスピードは上がっており、変化に対応できないことは現代を生きるのに致命的だと感じた。

地域（近接～広範囲）、期間（1年、15年単位）を定めて社会情勢を読む方法  
自身のキャリアや組織戦略を立てる際に役立てることができると感じました。

前回受講させて頂いた「キャリアデザイン」の際にもお話があった「時間スケール」の考え方で、今回5つの時間的スケール事例があり、その中で15年スケールで区切る事例がわかりやすく、漠然としていた世界の変化がいかに早いかということを実感することが出来ました。

また、世の中の変化の加速に対応するために常に学習し続け、常に自身をアップデートする必要がある事をあらためて認識しました。（一度学んだだけのスキルでは対応できない）

各国の特徴などを国別で学ぶことができました。ニュースなどで現在の情勢などは見聞きしてはおりますが、聞いているようできちんと理解するまではできておりませんでした。今後は世界の動向にもっと目を向けていきたいと思いました。

「教育とスキルの変化」のお話の中で、「ポータブルスキル」がこれからは大事になっていくことを再認識いたしました。自身がこれから学んで獲得していきたいスキルであるため、現状とあるべき姿を対比し、欠けている部分の習得を今後の課題といたします。

普段、見聞きしているのが一方的な視点だということに気づきがありました。全体を知ってみれば、おかしいなと思うようなことも気が付いていないまま信じているのは正しく判断ができないことに繋がるため、日ごろから自分に欠けている視点を意識してみるようにしようと思いました。

今回の講義は、世界の動向や情勢について改めて深く考えるきっかけとなった。現在の仕事は経理業務であり、グローバルな視点を直接活用する機会は少ないものの、国際的な視点を持つことの重要性や、グローバルな環境が経済やビジネスにどのような影響を与えるかを知ることが出来ました。

世界の情勢や今起きている問題について、興味を持つことができているなかったため、各国の情勢をわかりやすく教えていただき、苦手意識がなくなり面白いと感じることができました。

今後は広い視野を持てるよう、世界情勢について学んでいきたいです。

冒頭にお話しいただいた「盲目象を語る」で示唆いただいたとおり、これまで自分は一面的にしか国際情勢を捉えられていなかったことに気づかされました。

日本は日本の特異な環境や成り立ちのもとに物事を受け止めているように、他国には他国の歴史、文化、宗教や課題のもとに考えて動かれているのだという当たり前のことを知り、俯瞰して捉えることの重要性を教えていただきました。

また、時間スケールのお話では、たった数十年前には戦争が起きていたなど、今とまったく違う世界であったように、思っている以上に世の中の変化のスピードは速いということ、過去と今がガラリと変わっているようにこれからも大きく変化していくこと、その変化の中でも生き残っていかなければいけないということを考えさせられました。

時間スケールを考えて行動出来ていなかったと気づくことが出来ました。日々業務やスケジュールに追われる中で時間だけが経っていき、例えば1年スケールであっても考えられていませんでした。それはあるべき姿（目標）を想像し、自身の事で現状把握が出来ていないからだと思います。

かなりの情報量をSNSなどネット上や記事（紙面）で知り得る環境下で、物事をどのように捉えるか、自分の意思を持って向き合うかが大切だと感じました。

講義の中で変化はチャンスとしてとらえることというアドバイスがありました。それに対応できる準備として様々なことにもっと関心をもって行動する必要があると気づきました。

本日の講義では世界の主要地域に関して広い知識としてご説明いただいた認識です。事前知識が乏しいため、なぜ？そのような歴史があるのか？など背景を含めて理解するのが大変難しく、浅い理解にとどまってしまいました。今後は、講義で知った広く浅い知識の理解を深めるために、身近な題材から興味をもち日々の生活の中でアンテナを立てていくことが大切と感じ学びに繋がりました。

世界史的な視点から、距離と時間と遠近の視点からの政治情勢は興味深かった。また、社会の変革を、「1年スケール(または5年)・15年スケール・100年スケール」で捉える点も新しい見方だった。歴史事項は年を追うのに、実生活では「何年前は・・・」捉えるのだから、歴史もそのようなスケールでとらえることに納得。

やはり、5年また15年スケールで大きく歴史が変わることを再認識して、人生スケールを考え続ける必要性を感じた。

また今更ながら「国際化」と「グローバル化」の違いを明確に理解した。

恥ずかしながら、自身がグローバル思考が出来ていないことに気づきました。普段ニュースで耳にする国のことを聞き流してしまっていたと思います。

今後は、もっと世界の動向に目を向けないと自分の目指す仕事のあり方に近づけないと思いました。

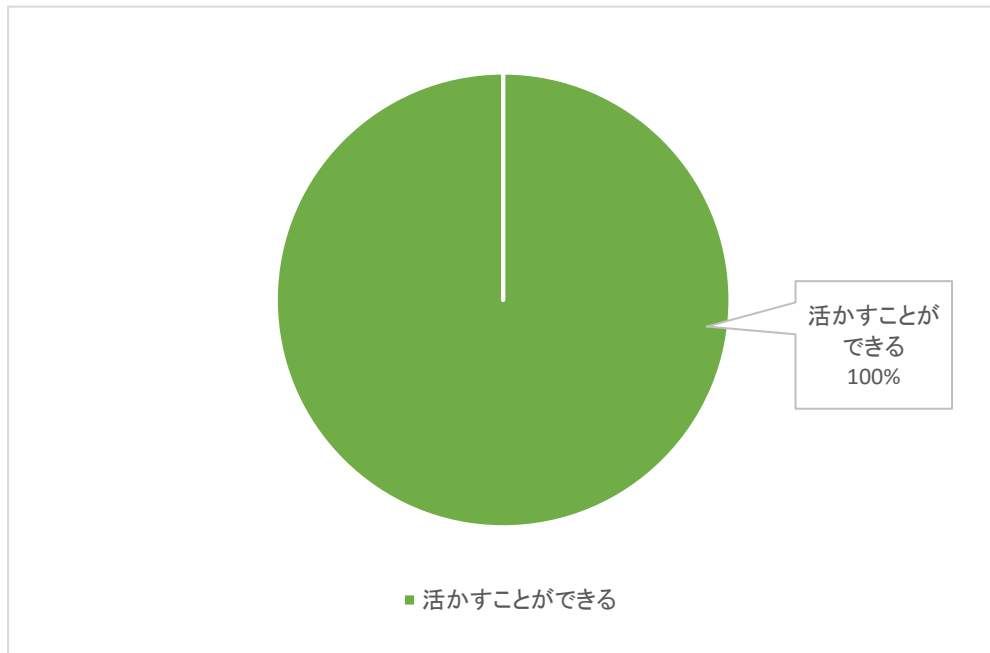
人生を15年スケールで考えるとこのことがいまいつかめなかったが実際の史実に合わせてみていくと15年で情勢は大きく変化しており、その波にうまく適応していく必要があると実感したから。

世界情勢の理解は、各国の歴史的背景や、経験により、断片的であったり偏見的理解になることは避けられないが、その事実を認識していることが重要と思いました。自分自身の考えを疑い、指標となる知識や経験を常にブラッシュアップすることが重要であり、その一つの手法として、歴史を15年、100年、1000年の単位で変化を分析することで、未来の変化に対して仮説が立てられることがわかりました。

今までは何気なくニュースなどで世界情勢を見ているだけでしたが、今回の講義で主要国の基本情報や動向、課題などをご教示いただき、各国の歴史や背景などを理解しておくことで視野が広がり、また違う見方ができるようになることを知りました。日ごろから関心を持ち、学び、自分の知識として身につけておけるよう心がけたいと思いました。

15年で世界は大きく変化することを知り、時代の変化を先読みし、企業として、個人として、変化にどう対応していくかを考えながら行動していく必要があると感じました。

**(3) 世界情勢の学びを、ご自分の仕事に活かすことができますか。【活かすことができる、活かすことができない】**



**(4) 本日の講義に関して、もっと学びたい点をお聞かせください。**

さまざまな国の情勢についてまとめていただいております、目を引くテーマも多かったため、より深く知りたいと思う内容が複数ありました。恥ずかしながら私自身の知識では、このように繋がりを把握しながら背景状況を紐解いていくことができないので、とても勉強になりました。まずは、特に身近な存在であるアメリカについて、より深く学びたいと思います。また、これまで旅行で数ヶ国を訪れた結果として、自分の中では「慣れた地」にいたことが一番落ち着くという結論に至って外国への興味が薄くなっていましたが、未知の価値観に触れることも良いものだ、改めて興味が沸いてきました。知見を広げる意味でも、これまで考えが及ばなかった地域を訪れてみたいと思っています。

面白い内容ではあったが非常にボリュームで、各テーマについて深掘りしながら丁寧に理解をしていくのは物理的に難しいように感じたため、前半と後半パートを分けて2日程で行うくらいでちょうどよいのではないかと感じた。

自社の事業に関わる国の現況については市場調査を行うこともあり、理解している内容も多かったですが、グローバルな思考をしようとした際、他のエリアの情勢や過去/未来は一続きとする見方が必要だと気づかされ、より多角的に世界を見る必要性を感じました。特に韓国、北朝鮮、中国等のアジア諸国については国の起りから学んでみたいと興味がわきました。

現在の日本の働き方の問題点について、グローバルな視点からの参考例や解決策をより学んでみたいと思った。

「あるべき姿」と「現在の自分」を比較して、不足している部分の勉強を行ったり、知識を身に付けたりする、という内容が、現在の自分の業務にとっても当てはまった。

これは会社がトップダウンで「あるべき姿」を示している必要もあると感じ、定まらないゴールやビジョンでは、社員は振り回されてしまうだろうと思った。

また、人口が減少傾向にある日本で、売り上げを伸ばし続けるという目標は果たして正しいのか、と自社の姿勢に疑問を抱いた。

先を見越した社会情勢の把握することで、実際に戦略として成功した事例。

キャリアに絞って数年先を読み、自身に活かすことができるための実践

①グローバルダイナミクスの変化 資本主義は大丈夫なのか？

社会主義現代化について

②教育とスキルの変化

ポータブルスキル獲得について

の2点をもう少し掘り下げてお話を伺いたいたいと思いました。

3時間という限られた時間でしたが、各国のことを学ぶことによって、「社会の情勢や状況に」関し、もっと学んでみたいと感じました。変化の激しい時代であるため、世界を知り、「変化にどう対応」していくか、深掘したお話を聞いてみたいと感じました。

正しい情報かどうかを見分けるために必要な知識について、講義でも色々お話を聞くことができましたが、もっと深く学んで生かしていきたいと思います。世界情勢は、仕事でも直接的ではなくても関わるため、意識して学びたいと思います。

今回の講義では①より、社会に関心をもつこと②変化はチャンスとしてとらえる③人生100年時代、新しい生き方を確立するということをまとめて挙げられました。今後は国際的な視点を積極的に取り入れながら、変化に対して柔軟に対応できる自分を目指していきたい。その為には自分のスキルや知識を時代のニーズに合わせてアップデートしていくことが必要だと感じました。

中東の情勢や歴史について学びたいと思いました。ニュースで見ているもの大枠しか分かっておらず、まず歴史から学んでいきたいです。

主要国・地域の動向について知らないことが多く、もっと学ばなければならないと痛感しました。また、2045年にはAIが人間の知性を超えるというお話がありましたが、AI・ロボット社会の進展と今後どのように共存していくか、まだまだ知識が不足しているため、学んでいきたいです。

・日本を取り巻く国々がありすぎて、どこに着目を置けば良いのか優先順位をアドバイスいただきたい

時間のスケールで物事を考えることについてより理解を深めたいと感じました。普段からそういった習慣をつけたいと思います。

身近なところでは、SDGsなどグローバル基準の指標ができてきていると感じております。講義の中でもお弁当の例題であったようにサプライチェーンひとつとっても、ひとつの国で完結することが難しい世の中になっていると再認識しました。つまり、自分の身の回りの生活やまた仕事面においても、直接的でなく間接的でもグローバル視点は必要不可欠と感じました。とくに東アジア情勢の緊迫を感じる昨今ですので、身近な国や地域の歴史や生い立ちなどを学びなおす必要性を感じました。

世界史的な視点から、距離と時間と遠近の視点からの政治情勢は興味深かった。この観点から、歴史と照らしあわせた経済情勢にも合わせて言及する内容だともっと面白いのではないかと思う。

社会を考える時間スケールを深く学びたいです。

前半の世界情勢については知っていることも多くあったので、できれば後半の内容をもう少し聞きたかったです。社会トレンドについていく方法やいち早く情報をキャッチアップするにはの観点でお聞きしたかったです。

取り上げて頂いた歴史的事実や昨今の世界情勢については、日本で報道されていて概ね認識の通りでした。今後更に、各国での認識の違い等多角的に学びたいと思いました。

大変興味深く拝聴させていただきました。時間の関係で終盤少し駆け足でしたが、今後重要となるトレンドや社会のあり方などについてもっと学んでみたいと思いました。